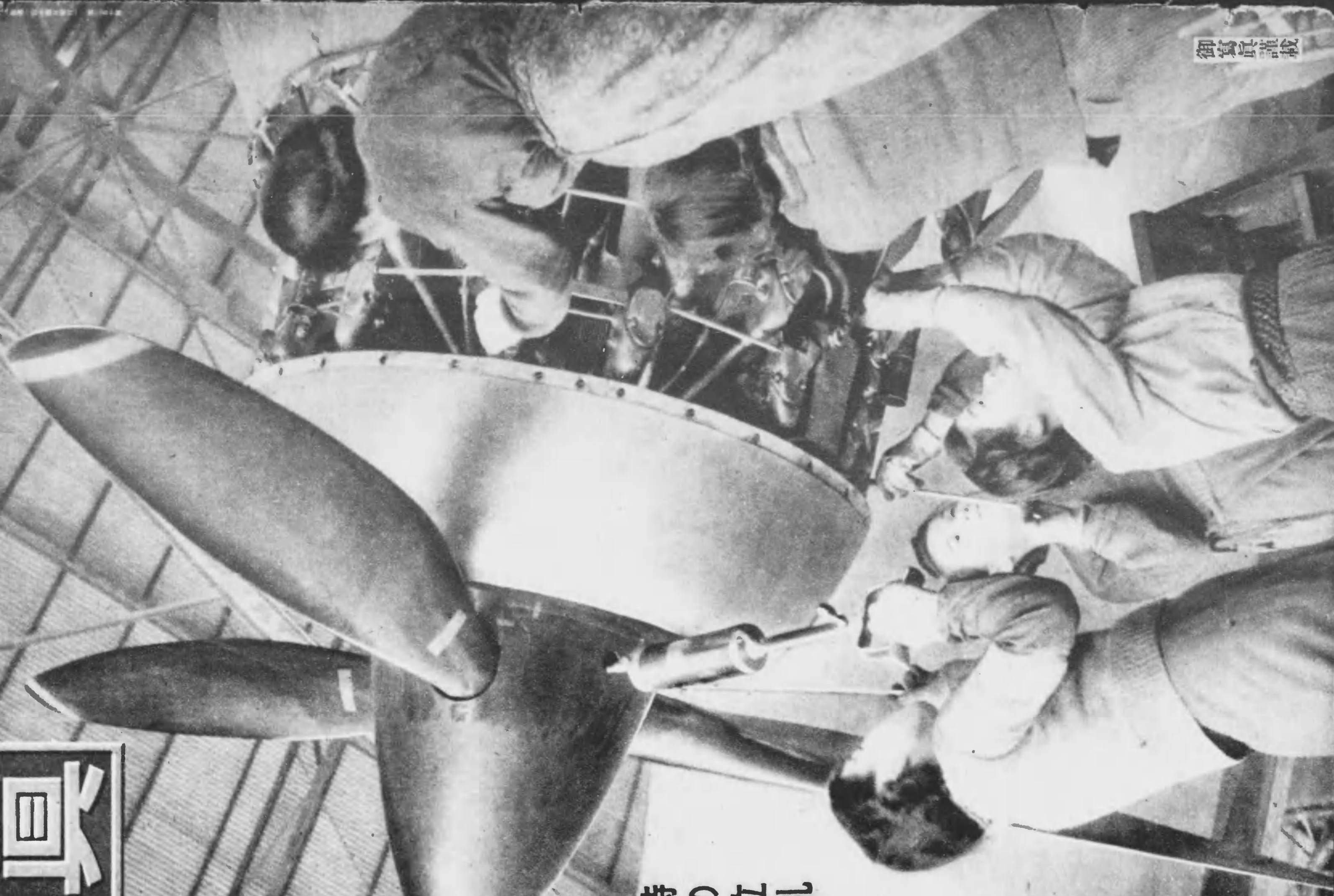


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

情 報 局 編 輯 五 月 十 日 第 三 二 〇 號

真 實 週 報

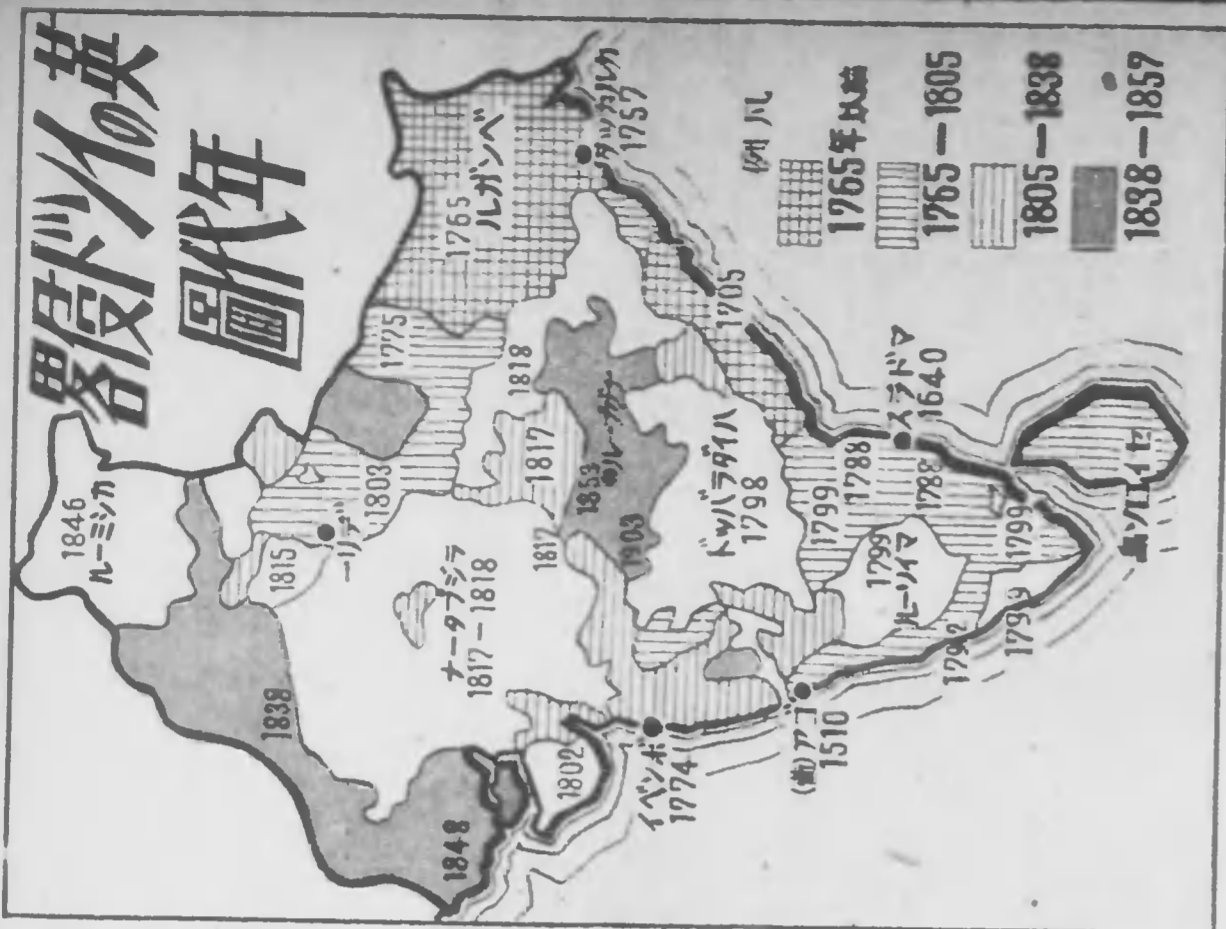
御 寫 眞 謹 載



時 の 立 礼

『女』と笑った人 今も見せんの腕前

著 録 する
女 子 舞 踊 員



審判の日は迫る 英國のインド植民地三百年

「インドを支配するものはアジア大陸を支配するものであり、全世界における最大の権力者たり得る——インドは英帝國防衛の戦略的中心点である——」とは、かつてインド総督として、殘虐な弾壓をインド國民に加へて有名となつたカーソンの言葉であるが、これこそ、英國のインドに対する心情の低らざる告白であり、東インド会社設立以來わが慶長年間、三百五十年に亘る英國のインド政策はすべて英國のためのインド支配であり、このためにあらゆる擧取と弾壓とをインド國民に加へ、武器を奪はれたインドは侵略者に対しては全く無力であり、貧乏になつたために、これ以上飢饉に對抗するだけの力もない……と、ガンヂー翁をして歎息せしめた程の悲惨な状態にインドを陥れたのである

からして、英國は前の歐洲大戦に際しては、百五十万の人間と、三億五千万ポンドの軍費とをインドに提供させたのであつたが、今度の大戰では、すでに数百万の動員を行ひ、歐洲は勿論、東亞の各戦線にも最前線にインド兵をたて、英國兵はその後にあつて戦つてゐる悲惨な遺り口は周知の如くである。のみならず、今や全インドの産業が動員され、英國の兵器廠となつてをり、英國は今日、その人的、物的のどちらもインドのお蔭で戦争を續けてゐるといつても言ひ過ぎではない

英國のためのインド支配政策は、およそ世界の歴史の上にその比をみないほど建極まるものであることは、すでに幾多の文獻に記されてゐるばかりでなく、當の英國人自らもこれを認めてゐる

英米國のランカンシア紡績工業の發展のために、インド人の綿糸布手工業を壊滅すべく、インド人男工の指を切り、女工の腰を折つた慘忍な事件は、今から僅か数十年前のことと過ぎないが、からした擧取と弾壓とによつて、インドの農村は極度の貧困に陥り、年々、恐るべき飢饉が蔓延するやうになり、一七七〇年(明和七年)の大飢饉の如きは、實に餓死者一千万人に達したと傳へられてをり、英國の擧取政策の犠牲として餓死したインド人は、この百五十年間に六千万に達するといはれてゐる

今次の歐洲大戰以後、英國のインドに対する擧取はいよいよ深刻となり、歐洲戦線へ巨額の食糧を送るために、俄然インド國內の食糧は窮乏を來し、新聞に傳へられてゐるやうに、連日頻々として食糧暴動が勃發してゐる有様であり、その上、悪疫の流行も甚だしく、英國議會でアメリカインド事務大臣が報告したところによれば、ベンガル州だけでも、昨年の後半期五ヶ月間の飢饉や疫病による死者は二百万人を越えてゐる

しかも、さらに大東亞戦争勃發以後、米軍のインド派遣によつて、インドの負擔はますます増大し、これら米英聯合軍の兵隊基地として莫大な食糧の供給と軍需品の生産のためにインド國民に対して莫大な勞働力の提供が強要され、昨年以來インド婦人までを強制徴用して、炭坑勞働に駆りかててをり、インド内外の猛烈な非難をひき起してゐる

かうした飽くなく英國の殘虐な壓迫に對して、インド國民が英國からの解放運動を企てるのは當然であり、一八五七年(安政四年)デリー北方のメールトに起つたインド兵の叛亂を烽火として、爾來、獨立運動の日々を道つて勢ひを加へつゝある。これに對して、英國政府は殘忍極まる彈壓政策を以て抑へつけて來たのであるが、まことにインド獨立運動史は、文字通り血を以て綴られたもので、その間に發揮された英國の殘忍性は言語に絶するものがあり、まさに鬼畜といふよりほかない

このメールトの叛亂は、忽ち北部、中部の各地に波及し、實に二年間に亘る大擾亂となつたが、英軍の殘忍な弾壓によつて、北インド一帯は悉く焦土と化し、子供、婦人の別なく虐殺され、市街、村落の別なく一物を残さず掠奪され、アラババトからカウンガールまで二百キロの沿道の並木は、絞刑にされたインド人の死體で埋められたと報告されてゐる程で、實に五万人の良民が犠牲に供された

殊に前の歐洲大戰には、英國政府はインドの人と物との資源を利用するために、戦後にも自治を興へるとの空手形を取したが、多年自由に慣れたインド國民はこの英國の偽誠政策



大英帝國の防衛者は何を興へられたか



かくて後等配をたり 石川 謙介

なく、さらにインド國民の自由を奪ふところのロラット法であつた。この英國の遺り方に如何にインド國民が失望し、如何に憤激したかはいふまでもなく、これ以來、いよいよ獨立反英の運動が深刻となり、各地に擾亂が勃發し、不安は全インドを蔽ふに至つたのは當然である

世界の立法史上空前といはれる弾壓法であるロラット法がインド議會を通過したのは、一九一九年(大正八年)三月十八日であつたが、その直後の四月十五日、ベンジャラ州のアムリツアで、インド教のお祭りに集まつたインド民衆を、英軍當局は集會禁止令違反として、英兵をして機銃掃射を浴びさせ、英當局の發表によつても約四百人の死者と千二百人の負傷とを生じたといふ慘事が勃發したのであつた

このアムリツア虐殺事件は、まさに英國のインド國民弾壓政策を露骨に現はしたもので、全世界から非難されるに至り、流石の英國政府も「當局の措置につき遺憾もしくは不法の點がなかりしや否や」を調査する特別委員會を設けて表面を糊塗しなければならなくなつた

だが、暗いインドにも黎明は訪れた。今この歐洲大戰が勃發するや、英國政府は厚顔しくも、前大戰の空手形を忘れたやうに、またもや戦争後インドに自治を興へると口實で、インドの戦争への協力を要求した

もちろん前の空手形に響いてゐるインド國民は今度はこれに欺されぬ。ポース首班を擁護とする國民會議派を始め、獨立運動の各派は一斉に獨立を要求して躍起した

これに對して、英國政府は、果敢大弾壓を以てこれに臨み、ガンヂー翁を始め獨立運動の指導者、一万数千人を捕縛し、獄を圖つてゐるものゝ、獨立運動は日を迫つて熾烈となつた。さらに大東亞戦争が勃發するや、獨立の機運は全インドに漲り、抗英擾亂が全國を蔽ひ、全インドが大動搖を來してゐると傳へられてゐた

その頃、英國官憲の彈壓から國外に逃れたポース首班が今や、獨立假政府を樹立し、皇軍協力の下に祖國奪回の軍を進めつゝある

英國のインド國民に對する三百年の罪惡が審判を受くべき日は迫りつゝあるのだ

に釣られ、百万の兵を歐洲戦線に送り、四万人の戦死者と七万人の戦傷者とを英國の勝利のために捧げた。さて戦争がすんだ後に、インド人に興へられたものは、自治どころではなかつた

殘虐な英官憲の彈壓に、インド民衆の抗英運動は相次ぐ

に釣られ、百万の兵を歐洲戦線に送り、四万人の戦死者と七万人の戦傷者とを英國の勝利のために捧げた。さて戦争がすんだ後に、インド人に興へられたものは、自治どころではなかつた

死罪か、餓死か、英國治世下でインド民衆の生きる道はないのだ



北を護る五族の國軍

滿洲國の國兵記念日——四月十五日

昭和十二年、大連を陥り、瀋陽を奪り文
字通り國を擧げて對日協力に懸命な滿洲國で
は、徵兵制を制定して四周年、真摯深い國民
皆兵の「國兵記念日」を四月十五日に迎へ、

□ 新京皇座を参拝する國軍の精鋭

榮美體大才は止まらずの國境を國を擧げての行
事に示した

この日、國都新京には、騎兵、歩兵、騎兵
砲兵、高射砲の各部隊、軍官學校生徒による
市中行進に呼應して、空には國軍若者の機體
飛行が行はれ、われらの國軍の進しまるかに
奔騰四千方武裝は、ひとしほ信望と親しさを
深めたのであつた

□ 小休中は國防婦人会が心からの接待

描點問題

天皇陛下には御めでたく第四十三回の御誕辰を
迎へさせ給ふ。大東亞戰爭下に三度迎へたる天
皇の佳節、至極尊貴に御慶び、御慶び、御慶びに
御慶びとされ給ふ。一億の國民のみならず、大
東亞の民草ひとしく皇壽の萬歳を祝ふ事

×
長き通りでは天皇陛下の佳節に當り、高橋大將、
許野直次、田中新一、岡部金治郎、南田壽吉、

憲法第六條に對し文化勸進の御沙汰あら
せらる。皇年の新御努力によつて我が國文化の
御進歩に實せられ奉る皇國は、その御慶び
を得ていよく高く光輝を放つてあらう

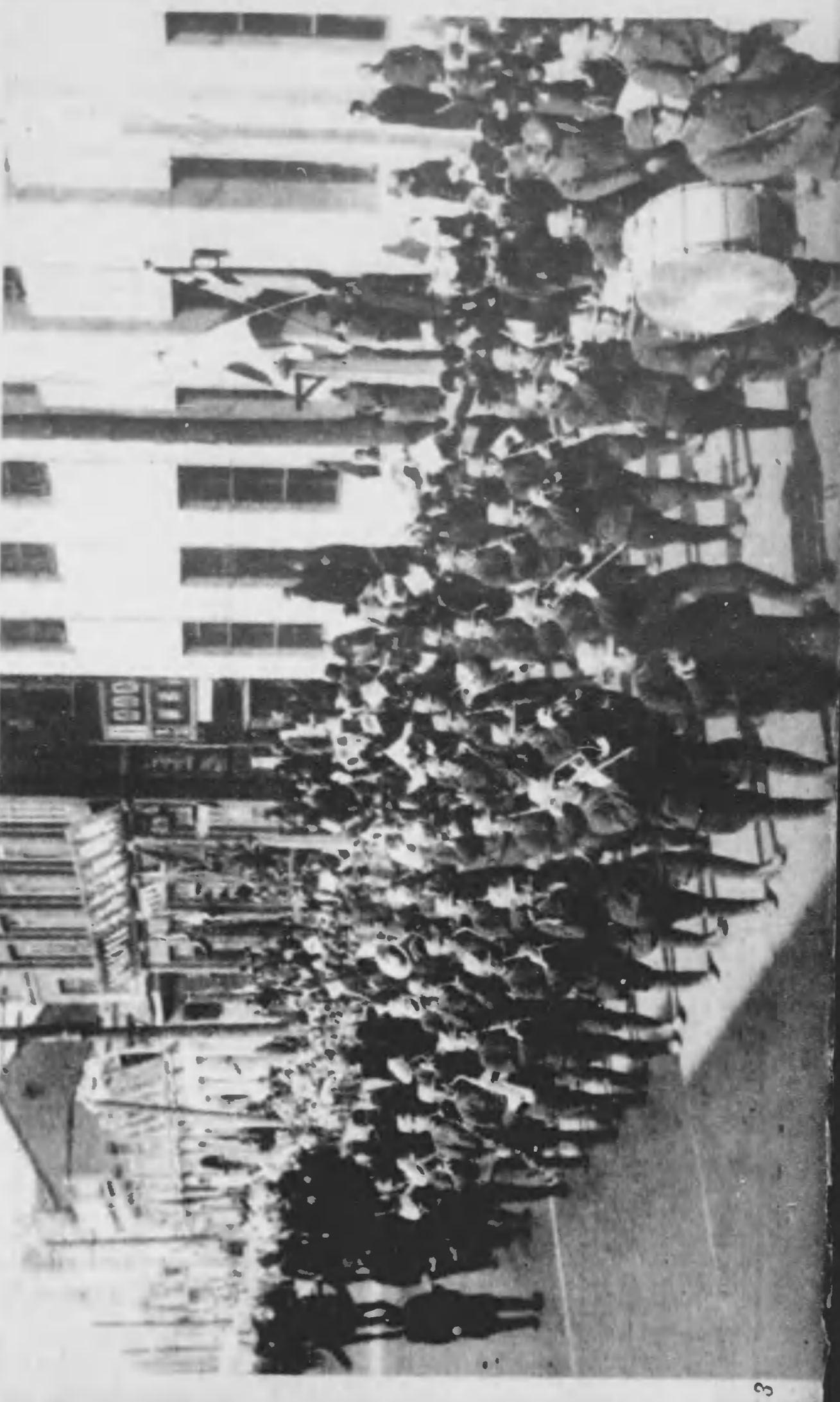
×
食糧増産に奮闘する農耕の人類の努力に酬いる特
別措置として、農出十割以上に報謝金（生産者
石當り百円、在村地主七十五円）九割以上に報

謝金（生産者四十円、在村地主十五円）を交付
することとなる。さきの養蠶の優待引上げ、湖
湖の領土買戻と共に増産供出の熱意鼓舞とその
成果には期して待つべきものがあらう

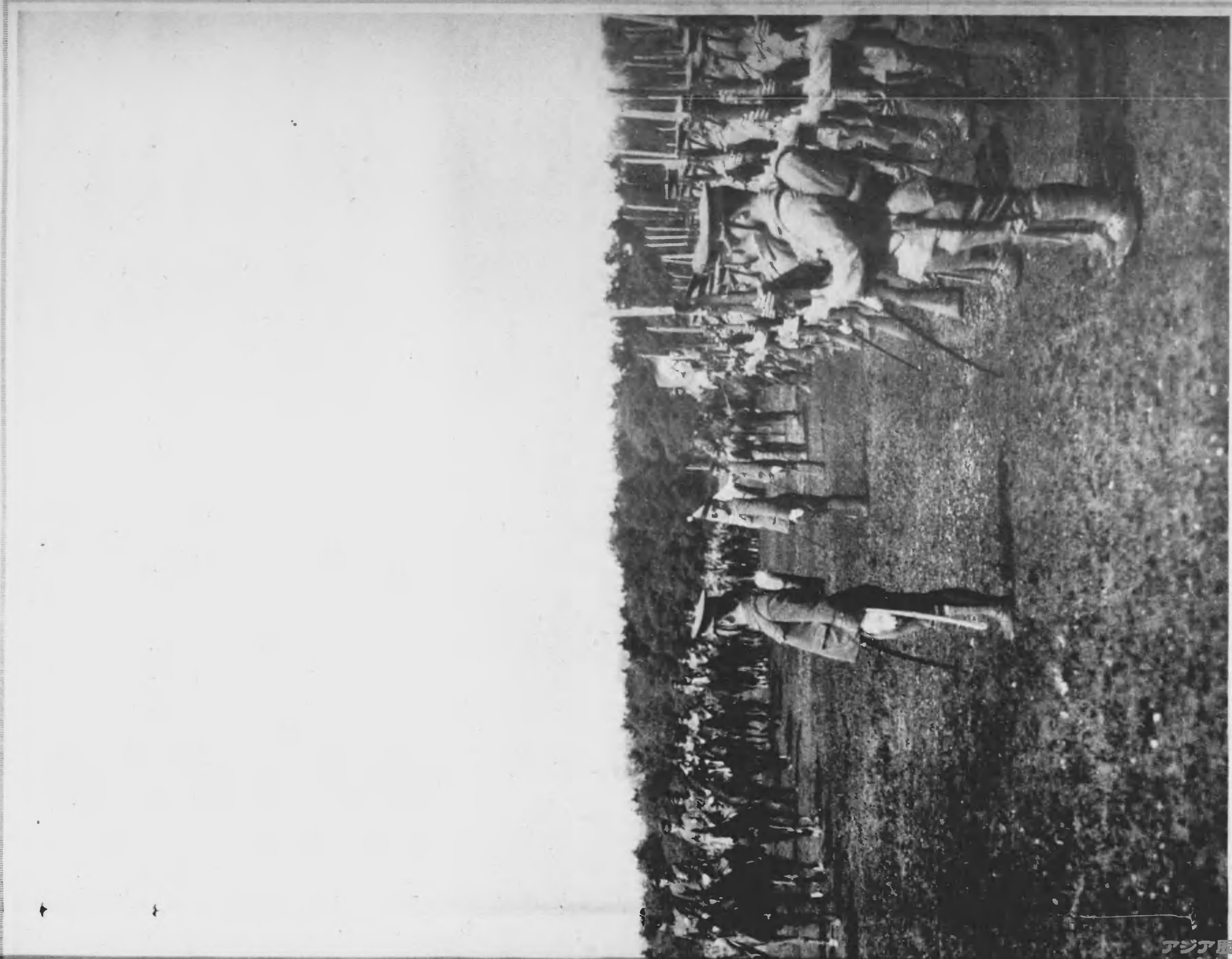
×
皇國戰士の殊勳を讃へる初の勳章有功章授與さ
る。遺へん魂、その烈々たる勳勞精神を、肥
ざる増産への寄與を



□ 國境も賑々しく國軍の愛護が盛ん 軍需品を供給に急ぐ市中を行進



大元帥陛下に式兵觀節長天 薫風臨親に式兵觀節長天



大元帥陛下

す 鬪を鋭精の陸に頭原木々代る薰風陣



今昔の年増産は倍とばかり播ませ

飛行機が飛ぶために潤滑油の必要はわけなし。今ではみなさんよく知つておられる。これがないと發動機もろこま、プロペラも廻らないのです。それならどの位の潤滑油が必要かといひますと、だいたい飛行機で使うガソリンの量の十五分の一です。しかもそれが無敵の空に、急降、逆轉、宙返りなど驚異の活躍をするには、もつと必要になるのです。いふに、南に激戦をつけてゐる第一線の要求に、飛行機は今どんとつられてゐます。しかし、いくら飛行機を滑山ついても潤滑油がなくては、せつかの飛行機が飛びたつわけにはゆきません。飛行機はたくさん出てきた—それに運じてわたしたちもどんと多く潤滑油をつくらねばならぬことはいふまでもありません。



◎ 潤滑油の増産に精進をうちこむ自らの勇士—東武陸軍第二病院にて

かかつて、蒸籠たちに大へん好まれてゐるのである。しかし今年にはもつと滑山の潤滑油が必要である。中は調に申しました。昨年の目標の倍なのです。そして潤滑油をつくらねばならぬ。その他には、潤滑油を輸出し、また滑山ついたら、潤滑油を表彰することになりました。

播く種子は 町内会や部落会、隣組などから各家に配られてゐるはず。もうひとつ、播いてしまつた方もありません。まだ播いてゐない方は、一日も早く大政翼賛会の支部に申込んで下さい。関東地方やそれより西の方の人で、まだ播いてゐない方があつたら、五月になつて播いても意氣に育ちますから、いまからすぐにも播いて下さい。東北地方ならまだ十分意氣に育ちます。今年には特に空利用の食糧増産もやられねばなりませんから、よく場所を考へて播いて下さい。なるべく陽當りのよい、風あつたりの少い場所をきめて、そこに深さ一尺、直

子麻菫



徑一尺位の穴を掘り、堆肥や草木灰や下肥、ゴマ屑などを入れ、一ヶ所に、一粒か三粒くらゐ播き、軟かい土で五分くらゐ撒ふと二週間くらゐで發芽します。あとで間引して丈夫なものを残します。一坪當りとして三本か四本見當で、株間は三尺から三尺五寸くらゐが適當です。

播いたものの手入れ は十分にやらねばなりません。成長すると高さ七、八寸くらゐになつて葉茂りますが、苗のうちは葉の密を風によわいですから、一尺から二尺くらゐになるまで、よく注意をはらつて手入れをすることにしませ

苧麻子 3200 (9000 粒)

ヒマ



苧麻子 3500 = 1000

ヒマシ油

ら。この頃になつたら、根元から一尺か二尺はなして、そのまはりには下肥やドブ水をほどとします。二週間おき位に二、三回もやれば十分です。もし天気がよくなつたら朝分水をそくのを忘れてはいけません。

兵隊さんも自らの勇士も 兵隊や農務所の片すみには、潤滑油を播いてゐるのです。さあ、みんなぞあつて、潤滑油を播き、立派に育てあげませう。

また成熟したら、種子の採集をわすれないで下さい。かならず保管して、一粒でも多く出してもらひたいのです。

ヒマの知識

ヒマシ油は潤滑油(二名ならごま)の種子から蒸餾法により採取される。含油率は約四十五三%であるが、特に純度の含油率は六二・六六%である。世界における潤滑油の産地はインド、ブラジル、東印度諸島、南洋群島等であり、わが国では蒸餾が主であつた。従来わが国では、これらの外國から輸入してゐたのである。

この主成分はリノレン酸($C_{18}H_{32}O_2$)で、その性質は比重及び粘度が大々く凝固は最も低い。エチルアルコール及び酢酸には容易に溶けるが、石油ベンゼン及び石油エーテルには溶けがたい。食用には不適当で、下劑として用ひられる。従来は薬用、ボマド、ロート油などに用ひられた。

しかし最も重要な用途は、潤滑油である。これは、粘度が大きく、比較的高温においても大して變化しない、凝固點が低いので、冷期にも堪へ、加熱してコークスを生ずることも少いからである。従つて過大の壓力及び温度を受ける軸受などには最も適する。

▲表の計算は、種子三粒よりヒマ一本生えるものとし、これより潤滑油一〇〇粒(約三十五グラム)を得て、油として一〇グラム採取するものとした。

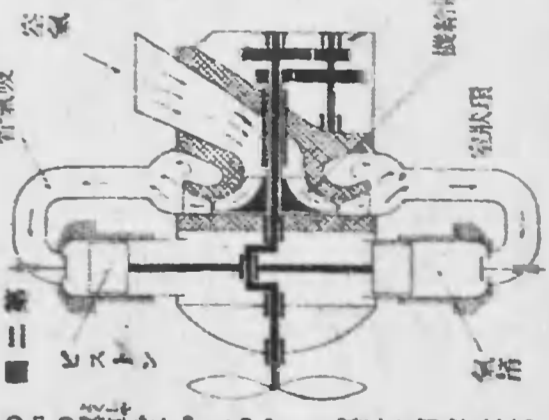


五日間訓練できる(一日八時間飛行するものとして)

機〇〇五機習練

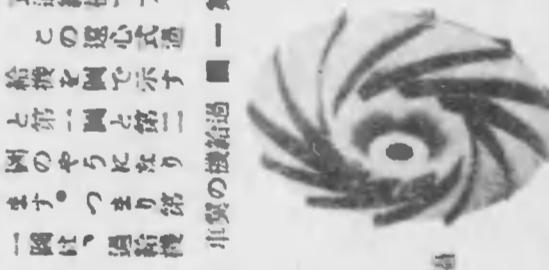
油滑潤

多、づ本一 人万千一約



この装置は、このやうな装置を前後二夜の間の間は、二、三分間に数回回るといふ強いつつと、潤滑油の中心に近いところから吸ひとられた空気は、遠心力のためにより濃縮されます。そして潤滑油の外側につくられてゐる。潤滑油に押し込まれてから、さらに潤滑油に吸かれて、潤滑油の中へつめてこまれますが、この種子は第二回のやうになります。

潤滑油はプロペラのやうには、外から見えませんが、こんな大切な役目を果たしてゐることを知らない人が多いので、空の飛船を眺めぬくためには、もつと研究して發達させなければならぬ機械なのです。



では潤滑油とはどんなものでせうか。潤滑油といつても、いろいろ種類のものがありますが、いま多く使はれてゐるのは、遠心式潤滑油です。

この遠心式潤滑油を潤滑油と第一と第二の潤滑油のやうになり、つまり第一潤滑油は、潤滑油の第一潤滑油

飛行機は日ごと高い空を飛ぶやうになり、今日でははゆる(高度一〇キロから三〇キロの範囲をいふ)の近くで飛行をまじへるほどになつてきました。

昔さんもよく飛んでゐるやうに、そんなに高いところでは、空気が非常に薄くなりますから、舊式の發動機では、吸ひとれた空気が足らなくなります。例へば地上で一〇〇馬力も出る發動機でも、八〇〇メートルの上空になると僅かに二四馬力しか出なくなるほどです。これはプロペラの回転速度があつてしまふから、飛行機は高度で飛べなくなります。そこで飛行機のやうに、薄い空気を發動機の中へ送りこまねばなりません。それには、一種の扇風機ともいふべき潤滑油といふ機械で、無理にも滑山な空気を發動機へ押しこんで、地上と同じ位の馬力を出すようにしてゐます。

この潤滑油は十五年ほど前から各國で研究されてゐました。ところが大東亞戦争になると共に、飛行機が急に進歩しましたので、潤滑油も一変の潤滑油について二つ、三つとだん／＼と多く使ふやうになり、また回転の速度も高、低のいくつにも分けて潤滑油までに發達してきてきました。

機給過の科



娘は賢し

近頃は若い者が目覚めて、分別があつてシツカリしてるといふ話である。つまり昔の反対である。

春子さんの家でも近頃、春子さんと母親との間に、こんなことがあつた。

「大朝男が閉鎖されて、芝居好きの奥さんやお嬢さんは、おろふお困つてるでせうね。」

春子さんは、わざと、そんな話をもたせかけた。

「い、何味ですよ。からいふ時勢に芝居なんか観る人は、よっぽど、どうかしてますからね。」

母親は勝手にしてつた。實をいふと、母親は芝居が好きなのである。歌舞伎でも新派でも、芝居といふもの、面白さは彼女にわからなかつた。それだから、常々、芝居に夢中になる人を、無難にしてゐた。

「お母さんの御有るとはりだ」と思ふわ。まづたく、認識の足りない人には、困つたものね。」

春子さんが、相手を打つた。

「ほんとうですよ。」

「君子さんのお母さまなんか、その一人だわ。」

君子さんが、海軍省へ勤めたいといつたら、反対なすつたんですつて。」

「驚きますね。さういふ母親があるから、親の方が頭が古いなんて、いはれるんですよ。」

「お母さんは、そんなこと仰言らないわね。」

「えい、あたしは……。」

「では、どうぞ、これに御座……。」

春子さんは、女子挺身隊の入隊志願書を提出した。

「あら……。」

母親は眼を白黒したが、もう遅かつた。からして、春子さんは、至つて簡単に、母親の許可を求め得たのである。

あつた！ あつた！

【四題】この頃の忙しさと、官つたら全く目がまはりさうです。配給やら、防務制練やら、焼つきりやらいろいろ仕事が多えた上に、娘は挺身隊で出てしまつたので、さうにもしやうがありません。用事が重なつて忘れたり、そのために二度ですむところを二度にしたりして、その日の中に片づかぬ用事も山あります。ところが不思議なことに、お隣りでは子供も多くその上、組長さんで仕事も多いはずなのに、それ程困つてゐる様子もみえません。私の知つてゐるところではお隣りの奥さんは茶の間で焼くつた餅を、

隣のやうなものにとまぐ、何か焼きこんだり消したりしてゐます。ことによつたらあれが虎の巻かもしれせん。 (春子さん)

【五題】水には香川水に多い。水と水道の敷水があり、硬水は含有物が多くて石鹸を併用しても十分にその效力を出すことができません。硬水を洗濯に用ゐる軟水に比べると、硬水は硬水にして用ひます。その硬水はその水に石鹸を加へて熱すると硬水であれば白くになり、軟水ならばほとんど白くありません。

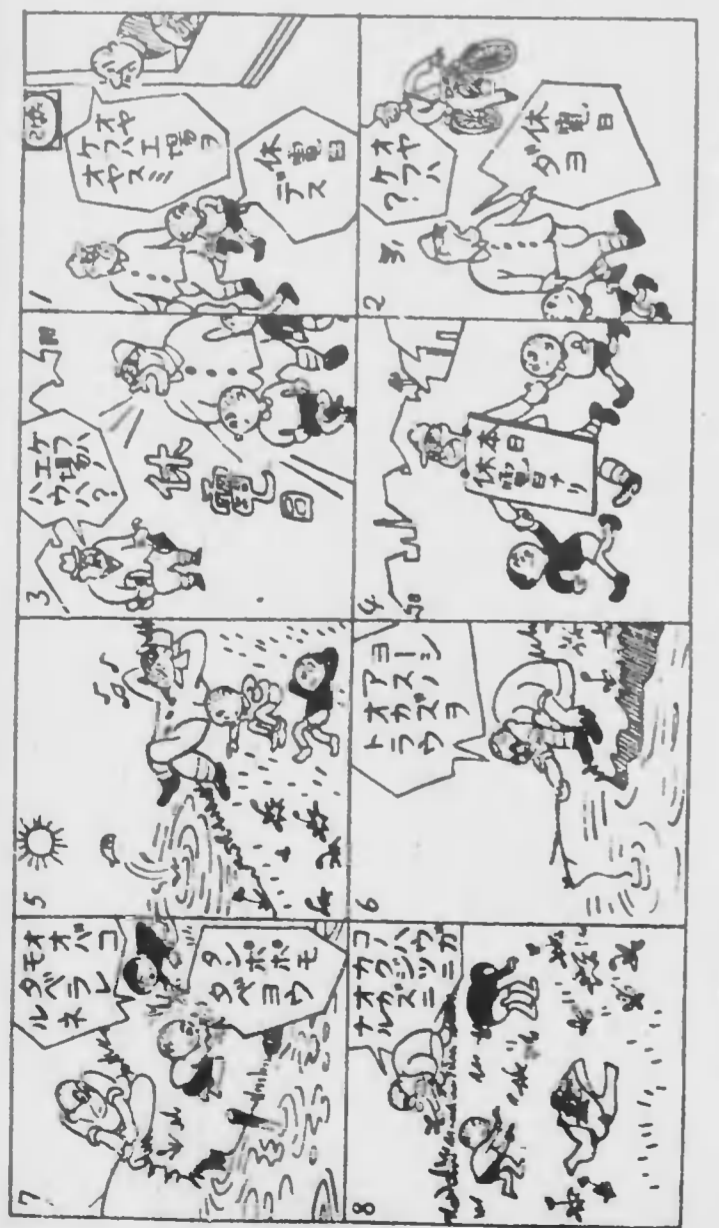


芝居も明るく楽しく

大朝男の閉鎖に反つたことしらの舞臺では、いま多額五郎が演じてゐる。芝居、所謂陸軍航空隊を助けた舞臺劇の展開が面白い。

舞臺内にある大朝男の生徒たちは訓練の厳しさを忘れて年頃の海軍に見られる。大朝男から消えた大朝男は、これほど面白く復活した。それは予て以上の舞臺の舞臺、舞臺ではなく、舞臺や舞臺舞臺の舞臺、舞臺の舞臺に新大朝男を見出した大朝男。

決戦兄弟 横山肇 一作 12



弾槍手

供出知
榎本映二
「その横は何だね」
「おそくともすつと」
供出者でがすよ」

増設二章
杉 狂夫
「何時がストつてわけかね」
「ハッ、この頃、あいちんちら中忙しくて家にも入れねえもんね。」

黒出し運送
榎本映二
「おぢさん、賑ひりよう」
「そのお親様が、お見えなつかうね、いま仕事中だよ。」

榎本映二
杉 狂夫
榎本映二「おしん、いよく研究家を用いて、香川つた草の損傷を止めましたわい。」

高真週報

昭和十九年五月十二日 定価 一部十銭 送料 二銭
昭和十九年五月十日発行 毎週一刷水曜日発行部 三百廿五

編輯者 情報局 印刷者 印刷局 中込所 全国各地官報週報普及部 書店 購買店 新聞販賣店

本誌を最新新聞や播報に
回買や前購対問にも

本誌を最新新聞や播報に回買や前購対問にも